

CHACONNE

DEALERS OF FINE VIOLINS

百年先まで届く響きを。

シャコンヌは、ヴァイオリンをはじめ、弦楽器のコンサ
ルタントとして安心と信頼をお届けしています。

ご提供する楽器や弓は、ロンドンでのオークションを
はじめヨーロッパ各地にて実際に目で見て吟味したも
のなどを輸入して揃えています。各店には、伝統的
な修理技術をもとに日本の繊細な技術を生かした独
自の基準をクリアした職人たちが常駐し、楽器本来
の姿を取り戻します。また東京海上火災の代理店と
して楽器保険業務も行なっております。お客様が安
心して演奏活動ができますよう、あらゆるご要望にお
応えします。

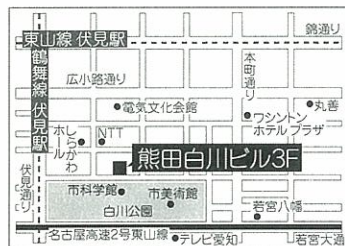
地方展示会の開催や弊社担当者が全国各地を定期
訪問、出張修理なども致しておりますのでご利用
下さい。



<http://www.chaconne.info>

弦楽器直輸入・修理、調整・楽譜・鑑定・楽器保険
株式会社 **シャコンヌ**

【全店共通】営業時間/10:00~18:30 定休日/日・月曜日
E-mail: chaconne@pop06.odn.ne.jp



名古屋店
名古屋市中区
栄2-11-19
熊田白川ビル3F
TEL 052-202-1776
FAX 052-202-2990

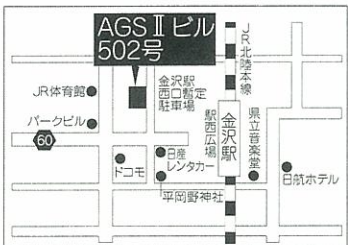


**東京
吉祥寺店**
武蔵野市
吉祥寺本町1-31-11
KSビル904
TEL 0422-23-1879
FAX 0422-23-1876

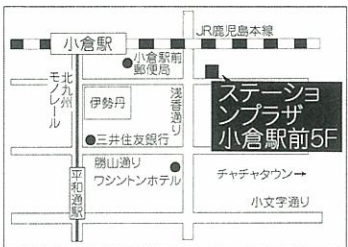
株式会社 **カノン**
ヴァイオリンレンタル
名古屋市中区単人町9-1ロイヤル棟中2F
TEL 052-834-4911 FAX 052-839-1217



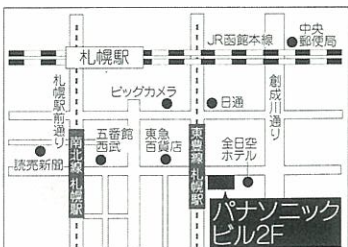
運命の二本との出会いがここにある



金沢店
金沢市広岡
1丁目212番
AGS IIビル502号
TEL 076-221-1779
FAX 076-232-3249



九州小倉店
北九州市小倉北区
京町4-5-27
ステーションプラザ
小倉駅前5F
TEL 093-531-2672
FAX 093-531-2574



札幌店
札幌市中央区
北3条西1丁目1-1
ナショナルビル2F
TEL 011-221-2561
FAX 011-221-2562

The 38th Kurashiki Orchestra

倉敷管弦楽団

第38回定期演奏会

日時

2012. **6.17** [SUN] 14時3分開演
(14時開場)

場所

倉敷市民会館



指揮: **角田 鋼亮**



オーボエ: **板谷 由起子**



主催: 倉敷管弦楽団 共催: 倉敷市文化連盟
後援: 岡山県・倉敷市・RSK山陽放送・OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送・岡山県郷土文化財団・財団法人倉敷市文化振興財団
助成: 公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団



倉敷管弦楽団

団長 田辺幹夫

豊橋市に日本アマチュアオーケストラ連盟という団体があります。全国の150団体余りが加入しており、アマチュアオーケストラの発展に日々努力しておられます。この団体の理事長 森下元康氏が先年亡くなられ、このことを毎日

新聞で知りました。アマチュアオーケストラの関係者が全国紙で報道されるのは珍しいことで、それだけに森下氏の偉大さが偲ばれます。私も森下氏に2~3回お会いしたことがありますが、いつも何十年来の親友のような物腰で接して下さり、その人柄に感動したものです。

本日の演奏は一昨年もお世話になりました新進気鋭の角田鋼亮氏の指揮と、中国地方を中心に活躍中のオーボエ奏者、板谷由起子氏の独奏で、モーツァルト：オーボエ協奏曲およびショスタコーヴィチ：交響曲第5番ほか、です。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

C. M. ウェーバー：歌劇「オベロン」序曲

W. A. モーツァルト：オーボエ協奏曲 ハ長調 K.V. 314

第1楽章 Allegro aperto

第2楽章 Adagio non troppo

第3楽章 Rondo, Allegretto

————— 休憩 —————

D. ショスタコーヴィチ：交響曲第5番 ニ短調 作品47

第1楽章 Moderato - Allegro non troppo

第2楽章 Allegretto

第3楽章 Largo

第4楽章 Allegro non troppo

C. M. ウェーバー (1786-1826) : 歌劇「オベロン」序曲

カルル・マリア・フォン・ウェーバーは、1786年ドイツのオイティンに生まれる。彼は、劇的・叙事的表現を画的に進歩させ、ロマン派音楽の門を開き、また「交響詩」という新しいジャンルの方向へ導いていった作曲家であり、「ロマン派の先駆け」に位置する。ウェーバーのメロディーは一度聴いたら人の心を離さない魅惑的なものが多い。

その中の作品「魔弾の射手」「オイリアンテ」「オベロン」はウェーバーの3大歌劇と讃えられる。

本日演奏する「オベロン」序曲は、ウェーバーが40歳の時の作品である。この時彼は結核を患っていて、この曲が絶筆の作品となった。序曲というのはオペラの本編の前に流れる曲のことで、オープニングテーマとも言える。それだけに作曲家の腕の見せ所であり、序曲が有名であることが多いのは、作曲家が特に力を入れているためという考え方もある。

舞台は紀元800年頃・妖精の国。歌劇「オベロン」のあらすじは…、

妖精の王、オベロンは王妃ティタニアと「真実の愛」について夫婦喧嘩をする。そして「どのような

困難にも負けずに愛し合う男女を見るまでは、仲直りをしない」と決めてしまう。オベロンはそのカップルに騎士ヒュオンとバクダッドの女王レツィアを選ぶ。二人はオベロンの魔法により相思相愛になり、様々な困難を乗り越えて最後に結ばれる。そしてそれを見たオベロンとティタニアもめでたく仲直りする、という筋書きである。

序曲の冒頭では、ホルンと弦楽器が神秘的な雰囲気を出す。これは妖精の国の不思議さ・神々しさを表していると解釈されており、息を呑むほど美しい音楽が流れる。ほどなく全楽器の強奏により、人間の世界の楽しげな様子が描写される。駆け巡る弦楽器は、まるでお祭りのように楽しく、陽気である。

その後再び静かになり、クラリネットの美しいソロが流れる。再び喧騒が始まり、そのまま盛り上がり、ラストまで一気に駆け抜ける。

「楽しく美しい」この曲には、万人に対する魅力がある。

(中川 雅美)

W. A. モーツァルト (1756-1791) : オーボエ協奏曲 ハ長調 K.V. 314

モーツァルトは管楽器のための協奏曲を色々残していますが、そのほとんどは当時の各楽器の名手のために作曲されたものです。

この曲も、当時のザルツブルク宮廷楽団のオーボエ奏者ジュゼッペ・フェルレンデイスのために、1777年(モーツァルトが21歳の時)に作曲されました。その後、マンハイム滞在中に同地のオーボエ奏者フリードリッヒ・ラムのために改めてこの曲を書き直し、今の形となったと言われています。

またこの曲は、フルート協奏曲第2番の原曲として有名です。急な作曲依頼に応じるため、多忙のモーツァルトはこのオーボエ協奏曲を二長調へ転調し、細部を少し変更ただけでフルート協奏曲として流用したのです(しかし後でそれが依頼者によって、報酬を半分に減らされたそうですが)。

現在、演奏される機会が最も多く一番人気のあるオーボエ協奏曲といえばこの曲なのですが、実は長い間楽譜が行方不明で、手紙などによりその存在が知られるのみでした。楽譜が発見されたのはなんと20世紀にもなった1920年のことで、それ以降ようやく広く演奏されるようになりました。

伸びやかな歌心溢れた旋律と華やかな技巧を聴かせるパッセージが見事に両立した、まさにモーツァルトらしい作品です。

第1楽章 Allegro aperto

オーケストラの爽やかな前奏に始まり、続いてオーボエが軽やかに入ってきます。

ソロとオーケストラが絶妙に絡み合いながら音楽が緊張感を持って展開していきます。後半には「カデンツァ」(独奏者が即興演奏する部分)もあり、その辺も聴きどころです。

第2楽章 Adagio non troppo

弦楽器の包み込むようなフレーズがやさしく響いて始まります。前奏に続いてオーボエが伸びやかに美しい旋律を奏でます。素朴で情緒豊かな楽章です。

第3楽章 Rondo, Allegretto

軽快なオーボエのソロから始まります。オーボエの明るい響きと華やかな技巧が効果的な躍動感のある楽しいフィナーレです。

(瀬尾 祥治)

D. ショスタコーヴィチ (1906-1975) : 交響曲第5番 ニ短調 作品47

ショスタコーヴィチは交響曲を15曲、弦楽四重奏曲を15曲書いたソ連を代表する作曲家で、ベートーベンとも並び称されている。ショスタコーヴィチは(本人が自虐的に語っているが)非常に筆の速い作曲家であり、例えばタヒチ・トロットという親しみやすいナンバーの編曲はわずか40分で書き上げてしまったと伝えられている。今回演奏する交響曲第5番は、演奏時間約45分という大曲にもかかわらず、わずか3か月余りで書き上げている。しかし、この曲に関しては、作曲を開始する以前に、長期にわたる深い内面の葛藤がなければならなかった。

ショスタコーヴィチ5番目の交響曲は、1937年に発表された。31歳の時である。当時の社会主義ソ連では、芸術分野を含むあらゆる分野の統制を行い、共産主義の強化(あるいは独裁)に取り組んでいた。ショスタコーヴィチの周囲でも体制に反するとされた音楽仲間や親類たちが次々と粛清される深刻な環境にあった。ショスタコーヴィチは、名声を博したペトログラード音楽院の卒業作品である第1番の後、単一楽章を持つ第2番、第3番を発表してきた。満を持して取り組んだ本格的な交響曲が第4番であった。しかしこの第4番は、リハーサルの段階で自ら撤回してしまう。この原因として様々な憶測がなされているが、おそらくマラー的な要素を取り入れたこの曲が、体制の意向に反する可能性を考慮した結果であろう。また、その直前には、以前発表し好評を博したオペラとバレエ音楽が当局の機関誌「プラウダ」によって批判され、ショスタコーヴィチは窮地に立たされてしまった。この苦悩の中で生まれたのが第5番である。過酷な状況の中で、このような壮大な曲にあえて挑んだという事実からは、勝負師的な性格が垣間見られ興味深い。批判に対して「音楽によって回答」したショスタコーヴィチは、聴衆を感動させかつ体制からの歓迎を受けることに成功したのであった。

西洋の近代的な音楽技法を取り入れた第4番に対して音楽的譲歩ともみなされるが、抑圧された中で生まれた力強い音楽、そして隠された内なるメッセージなど何物にも代えがたいものを感じることができる。それはショスタコーヴィ

チがこれまでの人生を振り返り、人格が形成される過程と未来への願いを含んだ内容だからだろう。真実さがそのまま伝わってくるのだ。発表前年には妻ニーナとの間に娘ガリーナが誕生していることも注目に値する。

第1楽章 Moderato-Allegro non troppo

まずチェロとコントラバスが決然と主題を提示する。その後、第1バイオリンによる美しいメロディー。これらが緻密に構成された楽章になっている。

第2楽章 Allegretto

ショスタコーヴィチお得意の舞曲風アレグロ。緊張が持続する1楽章に対して和やかな曲となっている。弦の上で指を滑らせて音程を連続的に変化させるグリッサンドという奏法もコミカルな演出をしている。

第3楽章 Largo

非常に美しいラルゴ。弦楽器とフルート、オーボエ、クラリネット、ファゴットといった木管楽器の組み合わせが美しい旋律を奏でる。通常の交響曲では全5部の弦楽器群であるが、この楽章ではバイオリンが3部、ビオラとチェロが2部ずつに分けられコントラバスを加えて全体で8部になっているのも特徴。最後はハーブとチェレスタで結ばれる。ソ連での初演時には聴衆のすすり泣きが聞こえたという。ショスタコーヴィチ本人はこの楽章の出来栄を特に気に入っていたようだ。

第4楽章 Allegro non troppo

ショスタコーヴィチ5番といえばこの4楽章の開始の部分がよく知られている。ティンパニのリズムとトロンボーンとチューバの力強い主題である。途中、バイオリンとハーブによって「プーシキンの詩による4つのロマンス」第1曲「復活」が暗示的に引用される。その後、徐々に盛り上がりいき管楽器のロングトーンと弦楽器のラ力強いフォルテッシモで終える。

(岩瀬文達)



指揮者：角田 鋼亮
(つのだ こうすけ)

ピアノ協奏曲を初演し好評を博す。99年、東海高等学校を卒業。卒業時に在学中の指揮活動に対し文芸部功労賞を授与される。同年、東京藝術大学音楽学部指揮科に入学。指揮法を松尾葉子、佐藤功太郎、ピアノを佐藤俊各氏に師事。2000、01、02年度野村学芸財団の奨学生となる。02年には学内で安宅賞を受賞。03年、同大学大学院に入学、04年にはクルト・マズア氏によるマスタークラスの受講生に選ばれ指導を受けた。2005年4月から渡独し、9月からはベルリン音楽大学「ハンス・アイスラー」にて学ぶ。指揮をクリスティアン・エーヴァルト、ミヒヤエル・ヘルムラート、合唱指揮をエバーハート・フリードリヒ、コレペティトウアをアレキサンダー・ヴィトリン、ピアノをスザンネ・グリユツマン各氏に師事。2007年2月に開催されたワークショップ「INTERAKTION 2007」ではベルリン・フィルやシュターツカペレ・ベルリンなどのメンバーを中心とする特別編成オーケストラを指揮し、高度な音楽性と確かな指揮技術を賞賛された。08年3月に一度東京芸術大学修士課程を修了し、翌年3月にはベルリン音楽大学でディプロムを取得、その後ドイツ国家演奏家資格課程を最優秀の成績で修了した。

これまで多くのプロ・アマチュアオーケストラを指揮する。共演したオーケストラはコンツェルトハウスオーケストラ・ベルリン、ブランデンブルク交響楽団、ドレスデン州立劇場オーケストラ、上海歌劇院管弦楽団、東京都交響楽団、大阪交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、ソリストはウィーン・フィルのコンサートマスターであるライナー・キュッヒル、同オーケストラのクラリネット奏者エルンスト・オッテンザマー、ヴァイオリニストのソフィア・ヤッフエ、長原幸太、白井圭、チェリストの遠藤真理、ピアニストの小川典子、松本和将、外山啓介、田村響、北村朋幹、ホルニストの松崎裕、ソプラノの佐々木典子各氏などが挙げられる。一方、オペラ、バレエ、ミュージカルの分野でも活躍。04年、TPT主催ミュージカル「ナイン」(デーヴィット・ルヴォー氏演出)では急遽指揮者を務め、その公演は紀伊國屋演劇大賞を授与され、また月刊「ミュージカル」誌において2004年度ミュージカルのベスト2にランクインした。オペラでは古典から現代物まで二十以上の作品を指揮し、とりわけ04年に手掛けたシューベルトのオペラ「四年間の哨兵勤務」「サラマンカの友人達」の日本初演は、「モーストリー・クラシック」誌において、その手腕を高く評価された。新国立劇場、二期会、東京室内歌劇場では公演により副指揮者を務める。テレビ・ドラマ「新春スペシャル・のだめカンタービレ」においては指揮指導を、映画「のだめカンタービレ・最終楽章」では、それに加え千秋真一役のピアノ演奏手元吹き替えを務めた。2011年はNHK名古屋放送局「さらさらサラダ」に出演、その後NHKカルチャー青山教室・名古屋教室、二期会研修所の講師を務めるなど活動の幅を広げている。

公式ウェブサイト：<http://kosuketsunoda.com/>



オーボエ：板谷 由起子
(いただに ゆきこ)
(広島交響楽団オーボエ奏者)

中学3年生よりオーボエを始め、岡山県就実高等学校へ入学。在学中、オーボエを有田 惇氏に師事。作陽音楽大学にて、故・岩崎勇、河野 剛各氏に師事したほか、ヘルムート ヴィンシャーマン、オットー ヴィンター、宮本 文昭各氏からも指導を受ける。

卒業後は同大学非常勤講師に就任し、後進の指導にあたる。その後、ドイツ国立ハンブルグ音楽演劇大学へ留学し、ライナー ヘルヴィッヒ氏のもとで研鑽を積む。

1991年より広島交響楽団に在籍。住友生命チャリティーコンサートにて、モーツァルト：オーボエ協奏曲、1993年には広島第140回定期演奏会にてマルティヌー：オーボエ協奏曲のソリストを務める。(日本初演)

第174回広島定期演奏会にて、リヒャルト シュトラウス：オーボエ協奏曲のソリストを、2007年の秋山 和慶のディスカバリー・モーツァルト&ハイドンシリーズでは、ハイドン：協奏交響曲のソリストを務める。

2009年にはアフィニスセミナーにおいても、同曲のソリストを務めた。

2011年には、広上 淳一氏指揮で、アーノルド：オーボエ協奏曲を日本初演している。

ソロ活動、アンサンブル活動ともに精力的に行うかたわら、2001年からはエリザベト音楽大学にて後進の指導にあつている。

カンマーフィルハーモニー ひろしま オーボエ奏者。

倉敷管弦楽団 Kurashiki Orchestra

「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年に設立され、文化都市倉敷市にふさわしいレベルの高い楽団として活動を続け、毎年約5回の演奏会を開催し、今年で38年目になります。

その間、昭和57年には岡山県教育関係功労者表彰、昭和60年には倉敷市文化連盟賞、平成16年には三木記念助成金、平成18年には福武文化奨励賞を受賞しました。また、平成18年には常任指揮者の菊池東氏が倉敷市文化章を受章しました。

毎年1回開催する定期演奏会では、これまで客演指揮者に早川正昭氏、堤俊作氏、金洪才氏、佐渡裕氏、星出豊氏、田中一嘉氏、増井信貴氏、曾我大介氏、角田鋼亮氏を招き、団員や演奏のレベルアップをはかっています。また、今まで共演したソリストも多く、フルートでは世界的巨匠ジャン・ピエール・ランパル氏、ヴァイオリンではイヴリー・ギドリス氏、前橋汀子氏、漆原啓子氏、天馬敦子氏、アナスタシア・チェボタリョワ氏、久保陽子氏、ピアノの深沢亮子氏、伊藤恵氏、花房晴美氏、松本和将氏、ルース・スレンチェンスカ氏、アンドレイ・ピサレフ氏、チェロの岩崎洸氏、山崎伸子氏、オーボエの茂木大輔氏、トランペットの津堅直弘氏、ホルンの松崎裕氏、ギターの福田進一氏らを招聘。また岡山県内で活躍している演奏家との共演も数多く行っています。また、倉敷地方の文化レベル向上に積極的に貢献しており、倉敷音楽祭に毎年のように出演し、ミュージカル「11匹のネコ」、シヨスタコービチ オラトリオ「森の歌」、プッチーニ「ラ・ボエーム」、團伊玖磨「夕鶴」、ビゼー「カルメン」等のオペラ、バレエの競演、に出演しています。近年は各地方をテーマに、日本人作曲家の曲やレスピーギ「ローマの祭り」、ホルストの「惑星」など、大編成の曲をとり上げています。県内のオーケストラの聴く機会の少ない地域にも、毎年のように出向いて、演奏会を開いています。

演奏曲目はバロックから現代曲まで幅広く、團伊玖磨氏作曲「管弦楽のための高梁川」、小六禮次郎氏作曲「瀬戸内賛歌」などを初演。オペラではモーツァルト「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシファン・トゥッテ」、ビゼー「カルメン」、J・シュトラウス「こうもり」、プッチーニ「蝶々夫人」などを演奏。

創立10周年記念演奏会では400人からなるベートーヴェン「第九」、20周年ではイヴリー・ギドリス氏、岩崎洸氏との「コンチェルトの夕べ」を開催し、30周年では、マーラー「交響曲第1番・巨人」を演奏しました。

倉敷管弦楽団 団員募集

定例練習日 毎週月曜日 午後7:00~9:30
 練習場所 倉敷市文化交流会館
 団員資格 オーケストラ経験者で、練習・演奏会に参加できる人
 募集パート 全パート

●お問い合わせは info@kurakan.org
 田辺幹夫/☎086-263-3521 菊池 東/☎086-522-5145
<http://kurakan.org/kurakan-blog/>

倉敷管弦楽団

団長/田辺幹夫 常任指揮者/菊池 東 指揮者/吉市幹雄 松江雄二
 ソロコンサートマスター/佐藤真理子 コンサートマスター/阿曾沼和代
 運営委員長/松江雄二 運営委員/岡崎将丈 大西智幸 糸島早苗 中塚えりか
 監事/鮑浦良和 月本裕子

Violin1	佐藤真理子 西村 恵 三宅 知子	阿曾沼和代 平松 綾 森安 鋭子	岡崎千瑞子 ◎藤田 真理 柳井 典子	小林 佐知 丸山 博樹 山根 範子	杉山 晃一 三宅 郁子 渡辺 陽子
Violin2	中塚えりか 大村 奈美 中川 雅美	鈴木 文香 大瀬戸景子 中島 恵子	荒木加英子 岡崎 将丈 新谷 敏子	岩瀬真理子 岡本奈津実 原田 洋輔	◎上原 保美 妹尾 恵子 村上 節美
Viola	◎松江 靖子 出宮 治子 ※山口 俊一	菊池 東 野田 卓也	岩瀬 文達 藤本 節子	大塚 浩二 ※滝沢 陽子	武本 克己 ※山下 徳美
Violincello	◎松江 雄二 田中 光子 矢田義比古	石川 恵子 田辺 幹夫	大西 智幸 辻田 順子	栗木由美子 平松 真弓	黒田 正典 松本 圭子
Contrabass	◎本屋敷勝信 ※岡崎謙一郎	糸島 早苗 ※河本 直樹	田中よしこ ※仲原 利江	平松 博之	松本 高広
Flute	小池かほる	◎坂井 昌子	月本 裕子	宮尾 紀子	
Oboe	◎瀬尾 祥治	羽井佐浩気	吉田 容子	※楨尾由利恵	
Clarinet	斎藤多恵子	福島 恭子	◎松本美和子	安原 由美	
Fagott	西 恵美	◎福森 絢子	※天本 裕子		
Contrafagott	※伊藤真由美				
Horn	◎澤田 秀実	松原 友美	畑 智子	※太田 裕子	※光本 佳世
Trumpet	◎原田 宗範	辻 眞理	※増本 辰馬	※金橋 美花	
Trombone	樋口 仁	松田英一郎	曾布川拓也		
Tuba	◎浅野 尚行				
Percussion	◎関 暢子	長谷川清司	※河田江理奈	※井上 充隆	※福田 晴香
Harp	竹村 知子				
Piano, Celesta	※畠山 勝子				

S.50.12.8
第1回定期演奏会
指揮/菊池 東
ヘンデル/合奏協奏曲Op.6・10
ヴィヴァルディ/
協奏曲集「四季」より<春><夏>
バッハ/
カンタータBWV202、
ブランデンブルク協奏曲第4番
小川清茂/弦楽のためのアイヌの歌

S.51.11.16
第2回定期演奏会
指揮/早川正昭
チェロ/山崎伸子
ヴィヴァルディ/
2つのトランペットのための協奏曲ハ
長調
バッハ/
ブランデンブルク協奏曲第1番ハ長
調
レスピーギ/
リュートのための古代舞曲とアリア第
3組曲
ボッケリーニ/チェロ協奏曲変ロ長調

S.53.1.8
第3回定期演奏会
指揮/フォルカー・レニック
ヴァイオリン/和波孝禧
ヘンデル/水上の音楽(ハレ版)
モーツァルト/
ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調
ドヴォルザーク/弦楽セレナーデハ長調

S.53.12.10
第4回定期演奏会
指揮/菊池 東
ピアノ/深沢亮子
ブリテン/シンブルシンフォニー
バッハ/
2つのヴァイオリンのための協奏曲二
短調
モーツァルト/交響曲第38番二長調
モーツァルト/
ピアノ協奏曲第20番二短調

S.54.12.9
第5回定期演奏会
指揮/菊池 東
チェロ/安田謙一郎
モーツァルト/交響曲第40番ト短調
ハイドン/チェロ協奏曲第2番二長調
ベートーヴェン/交響曲第1番ハ長調

S.55.12.7
第6回定期演奏会
指揮/堤 俊作
オーボエ/ディーテルム・ヨナス
モーツァルト/オーボエ協奏曲ハ長調
ヘンデル/合奏協奏曲Op.6-6
ドヴォルザーク/
交響曲第9番ハ短調「新世界より」

S.56.6.9
第7回定期演奏会
指揮/早川正昭
モーツァルト/
ディヴェルティメント二長調
ビゼー/「アルルの女」第2組曲
ベートーヴェン/交響曲第7番ハ長調

S.57.6.6
第8回定期演奏会
指揮/古谷誠一
ベートーヴェン/「エグモント」序曲
モーツァルト/交響曲第41番ハ長調

「ジュピター」
スメタナ/交響詩組曲「わが祖国」より
《高い城》《モルタウ》

S.58.12.11
第9回定期演奏会
指揮/湯浅卓雄
ヴァイオリン/豊田弓乃
モーツァルト/
「フィガロの結婚」序曲
メンデルスゾーン/
ヴァイオリン協奏曲ハ短調
ベートーヴェン/
交響曲第3番ハ長調「英雄」

S.59.12.2
倉敷第九演奏会(第10回定期演奏会)
指揮/堤 俊作
ベートーヴェン/
「レオノレ」序曲第3番
交響曲第9番二短調「合唱付」

S.60.6.1
第11回定期演奏会
指揮/金 洪才
トランペット/津堅直弘
ドビュッシー/小組曲
フンメル/トランペット協奏曲変ハ長調
ブラームス/交響曲第2番二長調

S.61.6.1
第12回定期演奏会
指揮/佐波 裕
ヴァイオリン/守屋美枝子
ヴィオラ/江島幹雄
シベリウス/組曲「カレリア」
モーツァルト/協奏交響曲変ハ長調
メンデルスゾーン/
交響曲第3番ハ短調「スコットランド」

S.62.6.7
第13回定期演奏会
指揮/佐波 裕
モーツァルト/
交響曲第35番二長調「ハフナー」
ブラームス/交響曲第1番ハ短調

S.63.6.5
第14回定期演奏会
指揮/古谷誠一
ヴァイオリン/景山誠治
モーツァルト/
「ドン・ジョバンニ」序曲
チャイコフスキー/
ヴァイオリン協奏曲二長調
交響曲第4番ハ短調

H.1.6.4
第15回定期演奏会
指揮/星出 豊
ヴェルディ/「ナブッコ」序曲
ヘンデル/水上の音楽(抜粋)
ブラームス/交響曲第4番ハ短調

H.2.6.3
第16回定期演奏会
指揮/田中一嘉
ピアノ/伊藤 恵
メンデルスゾーン/
序曲「フィガロの洞窟」
ベートーヴェン/
ピアノ協奏曲第5番変ハ長調「皇帝」
交響曲第6番ハ長調「田園」

H.3.6.2
第17回定期演奏会
指揮/田中良和

チェロ/岩崎 洸
ロッシニ/
「セヴィリアの理髪師」序曲
ドヴォルザーク/チェロ協奏曲ハ短調
チャイコフスキー/
交響曲第6番ハ短調「悲愴」

H.4.5.31
第18回定期演奏会
指揮/小出雄聖
ギター/福田進一
ビゼー/組曲「カルメン」より
ロドリゴ/アランフェス協奏曲
シベリウス/交響曲第2番二長調

H.5.6.6
第19回定期演奏会
指揮/増井信貴
ピアノ/伊藤 恵
チャイコフスキー/
幻想序曲「ロメオとジュリエット」
ベートーヴェン/
ピアノ協奏曲第4番ト長調
ブラームス/交響曲第3番ハ長調

H.6.6.5
第20回定期演奏会
指揮/金 洪才
ホルン/松崎 裕
ブラームス/大学祝典序曲
R.シュトラウス/
ホルン協奏曲第1番変ハ長調
ショスタコヴィッチ/
交響曲第5番二短調

H.6.12.18
コンチエルトの夕べ
(倉敷管弦楽団20周年記念)
指揮/飯森範親
ヴァイオリン/イヴリー・ギトリス
チェロ/岩崎 洸
モーツァルト/「魔笛」序曲
ポッパー/ハンガリア狂詩曲
ブラームス/
ヴァイオリンとチェロのための二重協
奏曲ハ短調

H.7.6.4
第21回定期演奏会
指揮/金 洪才
ピアノ/花房晴美
ポロデン/
「イーゴリ公」よりダッタン人のおどり
ラフマニノフ/
ピアノ協奏曲第2番ハ短調
チャイコフスキー/
交響曲第5番ハ短調

H.8.5.26
第22回定期演奏会
指揮/金 洪才
琵琶/陶 敬頼
ハーバード/弦楽のためのアダージョ
呉祖強・王燕樵・劉徳海/
琵琶協奏曲「草原小娘」
ベルリオーズ/幻想交響曲ハ長調

H.9.5.25
第23回定期演奏会
指揮/小野田宏之
オーボエ/茂木大輔
モーツァルト/
交響曲第39番変ハ長調
オーボエ協奏曲ハ長調
ムソルグスキー・ラヴェル/
組曲「展覧会の絵」

H.10.5.31
第24回定期演奏会
指揮/金 洪才
ヴァイオリン/天満敦子
ウェーバー/「オベロン」序曲
シベリウス/
ヴァイオリン協奏曲二短調
ブルックナー/
交響曲第4番変ハ長調「ロマン
ティック」

H.11.5.30
第25回定期演奏会
指揮/増井信貴
ピアノ/若林 顕
ブラームス/ピアノ協奏曲第2番変ロ
長調
ラフマニノフ/交響曲第2番ハ短調

H.12.5.28
第26回定期演奏会
指揮/増井信貴
プロコフィエフ/交響曲第1番二長調
「古典」
リスト/交響詩・前奏曲
ブラームス/交響曲第2番二長調

H.13.5.27
第27回定期演奏会
指揮/田中良和
ピアノ/有森 博
ドヴォルザーク/序曲「謝肉祭」
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第3番二
短調
シベリウス/交響曲第1番ハ短調

H.14.5.26
第28回定期演奏会
指揮/牧村邦彦
ヴァイオリン/
アナスタシア・チェボタリョーフ
ベルリオーズ/
序曲「ローマの謝肉祭」
チャイコフスキー/
ヴァイオリン協奏曲二長調
チャイコフスキー/
交響曲第6番ハ短調「悲愴」

H.15.5.25
第29回定期演奏会
指揮/平井秀明
ヴァイオリン/久保陽子
ロッシニ/「どろぼうかささぎ」序曲
ブラームス/ヴァイオリン協奏曲二長
調
ドヴォルザーク/交響曲第7番二短調

H.16.5.29
第30回定期演奏会
指揮/田中一嘉
バンスタイン/「キャンディード」序曲
レスピーギ/
リュートのための古風な舞曲とアリ
ア第2組曲
マラー/交響曲第1番二長調「巨人」

H.17.5.29
第31回定期演奏会
指揮/田中一嘉
モーツァルト/
交響曲第38番二長調「ブラハ」
リヒャルト・シュトラウス/
交響詩「ドン・ファン」
ブラームス/交響曲第4番ハ短調

H.18.5.28
第32回定期演奏会
指揮/増井信貴
ウェーバー/
歌劇「魔弾の射手」序曲
メンデルスゾーン/
交響曲第4番ハ長調「イタリア」
リムスキー=ニコラエフ/
交響組曲「シェエラザード」

H.19.5.27
第33回定期演奏会
指揮/曾我大介
スメタナ/
歌劇「売られた花嫁」序曲
モーツァルト/
交響曲第41番ハ長調「ジュピター」
ストラヴィンスキー/
組曲「火の鳥」(1945年版)

H.20.1.27
松本和将with倉敷管弦楽団
指揮/菊池 東
ピアノ/松本和将
グリーグ/
「ペールギュント」第1組曲
グリーグ/
ピアノ協奏曲ハ長調
ショパン/
ピアノ協奏曲第1番ハ短調

H.20.6.22
第34回定期演奏会
指揮/金 洪才
メンデルスゾーン/
「真夏の夜の夢」より
プロコフィエフ/
「ロメオとジュリエット」より

H.21.3.16
第23回倉敷音楽祭
倉敷管弦楽団演奏会
指揮/菊池 東
ピアノ/山田英代
真島俊夫(編曲:佐藤正俊)/
五つの沖縄民謡による組曲
ベートーヴェン/
ピアノ協奏曲第1番ハ長調
ドヴォルザーク/
交響曲第9番ハ短調「新世界より」

H.21.11.15
第35回定期演奏会
指揮/堤 俊作
ハチャトゥリアン/組曲「仮面舞踏会」
チャイコフスキー/

弦楽のためのセレナードハ長調
ドヴォルザーク/交響曲第8番ト長調

H.22.3.22
第24回倉敷音楽祭
倉敷管弦楽団演奏会
指揮/菊池 東
津軽三味線/木乃下真市
伊福部昭/交響詩
木乃下真市/津軽三味線とオーケスト
ラのための「海流K A I R Y U」
真島俊夫/三つのジャポニスム
レスピーギ/交響詩「ローマの祭」

H.22.6.27
第36回定期演奏会
指揮/角田鋼亮
ワーグナー/
歌劇「さまよえるオランダ人」序曲
ラフマニノフ/
ピアノ協奏曲第2番ハ短調
ブラームス/交響曲第1番ハ短調

H.23.3.21
第25回倉敷音楽祭
倉敷管弦楽団演奏会
指揮/菊池 東
ソプラノ/渡邊 史
外山雄三/
管弦楽のためのディベルティメント
渡辺俊幸/
2002年NHK大河ドラマ「利家とま
つ」より
大島ミチル/
2009年NHK大河ドラマ「天地人」
よりオープニングテーマ
佐藤直紀/
2010年NHK大河ドラマ「龍馬伝」
よりオープニングテーマ
ジュピター
ホルスト/
「惑星」より、火星、金星、水星、
木星
ジョン・ウィリアムズ/
ETより地上の冒険

H.23.6.19
第37回定期演奏会
指揮/金 洪才
ヴェルディ/
歌劇「シチリア島の夕べの祈り」序曲
ハチャトゥリアン/組曲「ガイヌ」
チャイコフスキー/
交響曲第4番 ハ短調

H.24.3.20
第26回倉敷音楽祭
倉敷管弦楽団演奏会
指揮/菊池 東
ソプラノ/渡邊 史
テノール/田中 誠
バリトン/蓮井 求
芥川也寸志/交響管弦楽のための音楽
チャイコフスキー/序曲「1812年」
プッチーニ/歌劇「蝶々夫人」抜粋

倉敷管弦楽団 今後の予定

2012年10月14日(日)
玉島信用金庫 創立50周年記念演奏会
玉島文化センター
指揮/菊池 東

2013年3月
倉敷音楽祭出演

2013年6月23日(日)
第39回定期演奏会 指揮/小林恵子